

平成28年第12回 大山町教育委員会 議事録

日 時 : 平成28年9月30日 (金)
午後1時30分～

場 所 : 名和公民館 第1会議室

出席委員	1番	金田吉人	2番	湊谷紀子	3番	林原浩子
	4番	山根 浩	5番	伊澤百子		

その他の出席者 教育次長、幼児・学校教育課長、人権・社会教育課長、
幼児・学校教育課 学校教育室長、幼児・学校教育課 担当

参観人 1人

日 程

1. 開会宣言 (午後1時30分)

委員長 ただいまから第12回目の大山町教育委員会を開会する。
日程については、配布資料のとおりである。

2. 議事日程の報告

委員長 会議時間については、午後1時30分から終了目標を午後3時としたい。

日程第1 会議時間の決定

自 午後1時30分 至 午後3時

日程第2 教育長報告並びに連絡事項

教育長 8月26日～9月30日までの報告事項について説明。

- 8月27日には、武蔵野美術大学学生たちによるワークショップ「旅ムサ ステイ in 大山」が教育研究所で開催され、予想以上の来場者があった。なかでも中学校美術部の生徒が熱心に絵を描いていた。
- 28日には、名和公民館子どもカルチャー教室映像製作報告会に出席した。CMづくりのテーマは、大山地区は「妻木晩田」中山は「山下牧場」名和は「御来屋駅舎」としていたが、3地区ともすばらしい仕上がりで年々上達していると思う。公民館をはじめ大人スタッフの情熱を強く感じた。
- 30日には、大山町メディアから子どもを守る実践会議の第1回目を開催した。保育所・小学校・中学校がそれぞれ本気で考えることが必要で、これからもこの会議を続けていく。
- 6日～9日にかけて、高校生マナーアップさわやか運動を実施した。あいさつがきちんとできることは非常に大切なことで、中学生までいかにそうさせるかが大事と改めて感じた。

- 7日には、町の9月定例議会が始まり、28日まで27年度会計の決算、28年度会計の補正予算等の議案について審議された。一般質問は11人中教育委員会関係が8人・10項目とかなり多く、教育への期待の大きさを感じた。
- 12日には、町交通安全対策会議が開催された。多数の団体・人にお世話になって子どもたちが見守られていると感じた。
- 14日には、サンダレス株式会社寄付贈呈式が行われた。もう25年以上、毎年20万円を図書の実践のために使ってほしいという希望で寄付をいただいている。
- 16日には、教育民生常任委員視察で名和小学校すもう大会を視察した。鳥取城北高校の校長先生、相撲部員5人も参加してにぎやかに開催された。
- 17日には、大山町女性レクリエーション大会が開催され多くの参加者があった。合併後11回目を数えるこのような大会があるのは県内で大山町だけである。
- 26日には、第14期「子育ての旅」修了式があり、新たに12の方が修了した。全国でもあまりない取組みで自主グループがともしっかりしていると感心した。

委員長 報告、連絡事項で質問、意見等ないか。ないようであれば、委員のみなさんも観覧された中学校の体育祭についてそれぞれの感想をお願いしたい。

委員 私は名和中の体育祭を観覧したが、全体的には規律正しく元気がよいと感じた。ただソーラン節とか組体操を見ると人数が減ったなど感じた。先生と生徒の関係はとてもよく感じた。

委員 私は中山中の体育祭を観覧した。3年生の男子が少なく各競技の進行等のまとめ方に注目していたが、先生の指導のもとすごくがんばって「縦割り班」をよくまとめていた。3年生を見て1年生の頃からがんばってきたんだなど感心した。

委員 中山中の体育祭を観覧した。昨今運動会での危険な競技に否定的な意見もあるが、中山中の男子騎馬戦、組体操は非常に迫力があつた。騎馬戦は普通帽子を取り合うものが多いが中山中の騎馬戦は上の生徒を地面に落とすまで勝負がつかないので、体をぶつけ合い必死でやっていた。また組体操は女子の方が高い段に挑戦していた。
リレーを見て中山中の生徒はとにかくよく走る、速く走れると感じた。保育所からの取組みの成果が出てきていると感じた。

教育長 3中学校ともそれぞれ特徴がある。人数が少ないのはどうしようもないので、その中でどう取り組むかが大切である。今後もいろいろな工夫をしてほしいとともに、問題もあるがある面では厳しく鍛えることもよいと思う。

委員長 例年大山中を長い時間観覧するが、今年は日程の関係で初めて中山中体育祭を落ち着いて観覧した。開会式に応援団の応援からスタートし、非常に新鮮だった。縦割り班の名前もこの国の古きよき言葉を使っており驚いた。騎馬戦は闘志むき出しで迫力満点、今の時代にこれだけ本気でやるのかと印象に残った。
名和中、大山中は毎年観覧しているが、それぞれ特徴があり運動会を先生・生徒がよく楽しんでいるという印象だった。
それから、13日の美術館について話し合うキャラバンについてももう少し詳しく聞きたい。

人権・社会教育課長 県教委が県立美術館について広く県民から意見を聞くもので、西部市町村ではなかなか参加者が集まらない中、大山町では25人が参加した。県教委は県立美術館の候補地を今年中にまとめたいと考え、県内全市町村でこの会をするということである。今のところ美術館の候補地となっているのは、鳥取市砂丘周辺及び市役所跡地、倉吉市ラグビー場跡地、北栄町自動車免許センター跡地の4つで、会に出席した町民はすべての県民が行きやすい中部地区を要望していた。

委員長 その他質問、意見等ないか。ないようであれば日程第3に進む。

日程第3 協議

学校計画訪問等について

委員長 事務局よりご説明をお願いしたい。

教育次長 学校計画訪問等としているが、教育施設全般の訪問について委員の皆さんの意見を伺いたい。教育委員会には学校、保育所のほか図書館、公民館、寺子屋、人権交流センター等多数の出先機関がある。公民館では個人的な活動でよく行かれると思うが、なかなかすべての施設に出入りされている方はないように思う。教育委員会として普段なかなか行けない所管施設を計画的に視察することについて協議したいと思うが、委員の意見はどうか。

委員長 ただいま事務局より説明のあった提案について、意見をお願いしたい。

委員 委員として、日本遺産に認定された大山、また門脇家等もう少し詳しく説明を受けたり、訪問したりしたいと考えている。またその他の教育委員会のいろいろな施設についても機会があれば訪問したいと考える。年に何度か教育委員会を名和公民館以外の施設で開催してはどうか。

委員 教育委員会を他の公民館でもよいのではと思う。人権関係の施設にはなかなか行く機会がない。時間があればいろいろな施設を訪問したいと思う。

委員 個人でいろいろな施設を訪問することは困難なので、教育委員会の他の施設での開催については是非取り組んでほしい。

委員長 いろいろな施設を訪問したいとは思いますが、それぞれ忙しいので年数回でも教育委員会を名和公民館以外で開催するよう調整するということでよいか。

全委員 了承。

3. その他

・市町村教育委員研究協議会

平成28年市町村教育委員研究協議会について、教育次長より説明を行った。

・区域外就学の終了の報告について

区域外就学の終了について幼児・学校教育課長が報告を行った。

4. 次回の開催日程 平成28年10月25日 午前9時30分～

5. 閉会宣言 (午後2時43分)